

目標 物理現象の基本的な内容を中心に学習を進め、多様な物理現象を説明する基本的な概念や法則について深く理解できるようになる。

位置 日常生活で観察される物理現象について理解するとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験  
づけ などに関する基本的な技能や思考力を身に付けるようにすることが大切です。

■使用する教材

- ・問題集
- ・プリント
- ・物理の教科書 ほか

■学習する単元とおおよその時期

- ・力と運動
  - 平面内の運動 …………… 【10月】
  - 剛体 …………… 【10月】
  - 運動量の保存 …………… 【11月】
  - 円運動と万有引力 …………… 【12月】
- ・熱と気体
  - 気体のエネルギーと状態変化… 【1月】
- ・波
  - 波の伝わり方 …………… 【2月】
  - 音の伝わり方 …………… 【3月】

■授業の流れ、予習・復習を含めた学習方法

教科書に沿って各単元の内容の基本的理解を進めていきます。また、実験で基本的な技能や思考力を養います。問題演習や課題に取り組み、内容の定着を目指しましょう。

■観点別評価について

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
評価基準	A 日常生活や社会との関連を図りながら、物理現象についての基本的な概念や原理・法則などを理解し、科学的に探究するために必要な観察、実験など基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。	物理現象から問題を見だし、見通しをもって観察、実験などを行い、得られた結果を分析して解釈し、表現でき、科学的に探究している。	物理現象に主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったり、科学的に探究しようとしている。
	B 物理現象についての基本的な概念や原理・法則などを理解している。科学的に探究するために必要な観察、実験など基本操作を身に付けている。	物理現象から問題を見だし、観察、実験などを行い、得られた結果を分析し、表現でき、科学的に探究している。	物理現象に関わり、見通しをもったり振り返ったり、科学的に探究しようとしている。
	C 上記が達成できていない	上記が達成できていない	上記が達成できていない
評価の場面	単元テスト、小テスト	単元テスト、実験	授業の取組、課題

単元テスト	教科書		実施予定
平面内の運動	第1編	第1章	10月
剛体	第1編	第2章	10月
運動量の保存	第1編	第3章	11月
円運動と万有引力	第1編	第4章	12月
気体のエネルギーと状態変化	第2編	第1章	1月
波の伝わり方	第3編	第1章	2月
音の伝わり方	第3編	第2章	3月